

呉市都市計画マスタープラン全体構想（素案）説明資料

第1章 都市計画マスタープランの概要

- 1 策定の目的
- 2 改定の基本的な考え方
- 3 計画期間と対象区域

第2章 呉市を取り巻く状況

- 1 呉市の魅力と強み
- 2 呉市の都市づくりを取り巻く状況
- 3 都市づくりに対するニーズ
- 4 現行計画の振り返り

第3章 全体構想

- 1 都市づくりの主要課題
- 2 都市づくりの基本理念，都市の将来像及び都市計画の目標
- 3 将来都市構造の設定
- 4 分野別の都市づくりの方針

※第4章地域別構想，第5章都市づくりの推進方策は，令和4年度に検討

第1章 都市計画マスタープランの概要

1 策定の目的

都市計画マスタープランは、都市計画法第18条の2に定める「市町村の都市計画に関する基本的な方針」であり、中長期的な視点に立った都市の将来像を明確にし、その実現に向けての道筋を明らかにするもので、上位計画である第5次呉市長期総合計画や広島県が策定する広島圏域都市計画マスタープランに即して策定します。

2 改定の基本的な考え方

現行の都市計画マスタープランの基本的な考え方を引き継ぎ、「コンパクト+ネットワーク」の都市構造の構築を目指すことを基本とし、それに加えて、上位計画や近年の社会情勢の変化などを反映します。

3 計画期間と対象区域

おおむね20年後の都市のあるべき姿を展望しつつ、今後10年間で取り組む都市づくりの方針を定めます。

計画の対象区域は都市計画区域を基本としますが、都市計画区域外にあっても、一体的・総合的な都市づくりに資する内容については記載することとし、市域全体を見渡して策定します。

[上位計画]

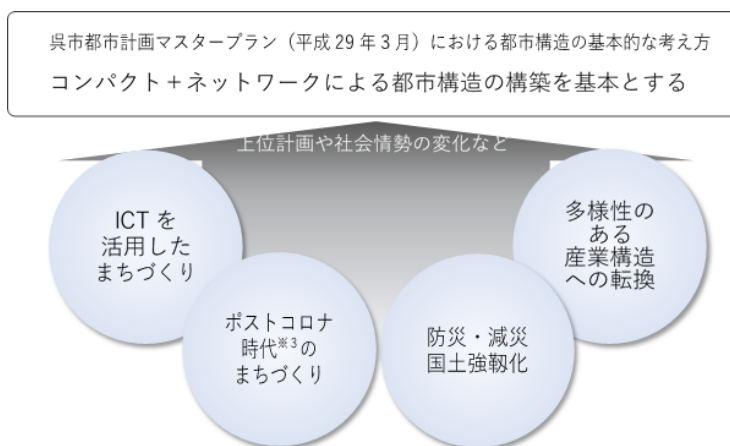
第5次呉市長期総合計画(令和3年3月)
 <呉市の将来都市像>
 誰もが住み続けたい、行ってみたい、人を惹きつけるまち「くれ」
 ～イキイキと働き、豊かに安心して暮らし、ワクワク生きる～
 <私たちが描く未来の呉市>

- 1 質の高い生活が実現されるスマートシティ※1「くれ」
- 2 新たなチャレンジでビジネスチャンスを生み育てる「くれ」
- 3 都会にはない心地よい暮らしが人々を惹きつける「くれ」
- 4 災害に屈しない強靱なまち「くれ」
- 5 SDGs※2を通して豊かな未来を創る「くれ」

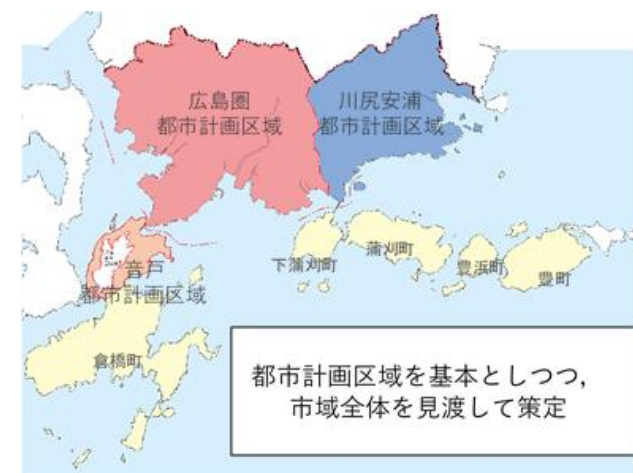
広島圏域都市計画マスタープラン(令和3年3月)
 <広島県における都市の目指すべき5つの将来像>

- 1 コンパクト+ネットワーク型の都市
- 2 活力を生み出す都市
- 3 魅力あふれる都市
- 4 安全・安心に暮らせる都市
- 5 住民主体のまちづくりが進む都市

[改定都市計画マスタープランのイメージ]



[対象区域]



※1 スマートシティ：都市や地域が抱える様々な課題に対して、AI やIoT などの新技術を活用して計画、整備、管理・運営等のマネジメントが行われた持続可能な都市

※2 SDGs：エス・ディー・ジーズ。Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略。2015年9月の国連サミットで採択された「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい世界を目指す2030年までの国際目標

※3 ポストコロナ時代：新型コロナウイルス危機を契機として、働き方・暮らし方に対する人々の意識や価値観に変化・多様化が生じた社会

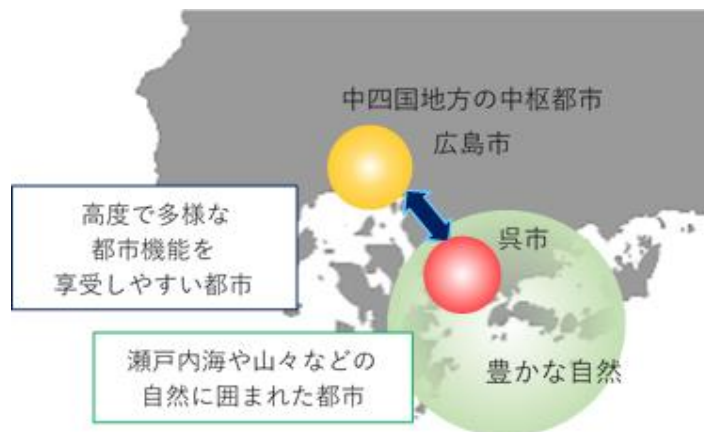
第2章 呉市を取り巻く状況

1 呉市の魅力と強み

素案 P 8 ~ P 9

1) 豊かな自然と中四国地方の中核都市に近接する都市

- ・ マリンスポーツなどを身近で体験することができ、農水産物が豊富
- ・ 広島圏域の一翼を担い、その中核都市である広島市の高度で多様な都市機能を楽しむやすい。



2) 旧海軍の歴史とものづくりの技術が根付く歴史ある都市

- ・ 瀬戸内有数の臨海工業地帯として広島県の産業をけん引
- ・ 大和ミュージアムや日本遺産など、旧海軍ゆかりの観光資源を多く有する。

[大和ミュージアム]



[ものづくり産業]



3) 医療機関の充実した都市

- ・ “いざ”というときに安心できる医療提供体制が確保されている。
- ・ 市民の健康の維持・増進を図る取組を推進

[病院施設数]

区分	病院施設数 (実数)	病院施設数 (人口10万人対)
呉市	26	11.7
広島県	237	8.5
全国	8300	6.6

資料：厚生労働省「令和元年医療施設調査」を基に作成

4) 多様な交通モードを有する都市

- ・ 一定程度の道路ネットワーク、鉄道 (JR 呉線)、広島空港への近接性、呉港を始めとした海洋拠点や航路を有する。

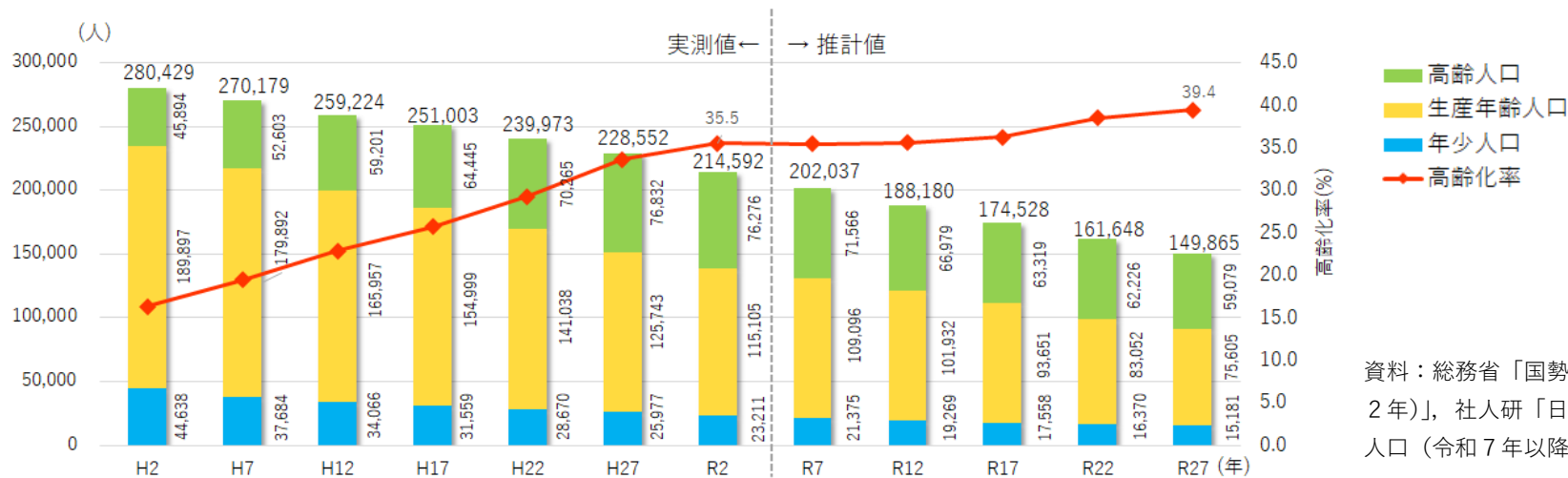


2 呉市の都市づくりを取り巻く状況

1) 人口

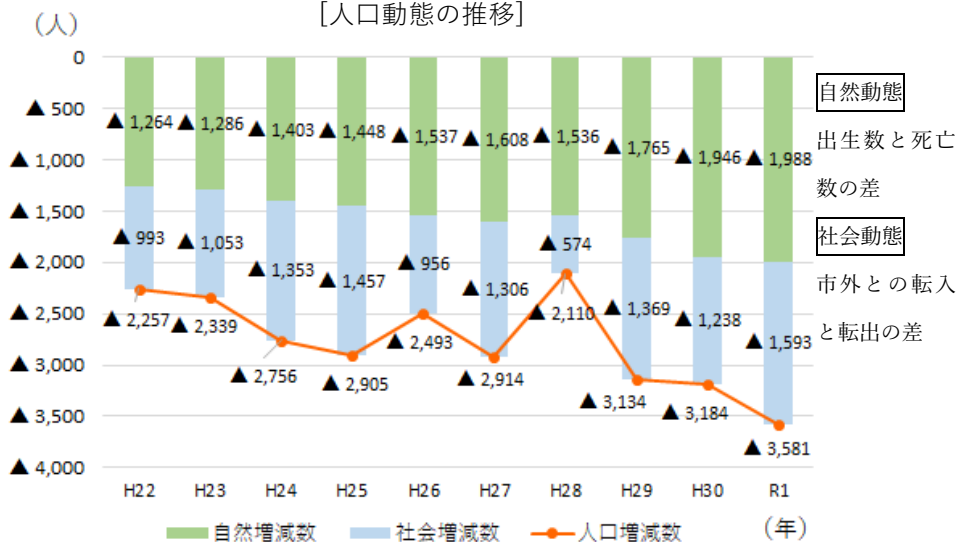
- ・人口減少が続いており、令和27年には約30%減少（令和2年比）、高齢化率の増加と年少人口の減少により少子高齢化が進展する見込み
- ・自然動態，社会動態ともに減少傾向。仕事や婚姻関係などを理由とした若年層の市外への転出が多い。

[年齢3区分別人口動向と将来人口推計]



資料：総務省「国勢調査（平成2～令和2年）」，社人研「日本の地域別将来推計人口（令和7年以降）」

[人口動態の推移]



資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口，人口動態及び世帯数調査」

[性別・年齢別・理由別転出超過状況（令和元年度）]

(単位: 人)

	男性						女性					
	仕事	学校	通勤通学	婚姻関係	住宅事情	その他	仕事	学校	通勤通学	婚姻関係	住宅事情	その他
総数	▲350	▲18	▲113	▲104	▲67	47	▲326	▲35	▲81	▲131	▲46	▲145
0～9歳	▲38	▲1	▲8	▲6	▲11	▲3	▲49	▲8	▲5	▲6	▲1	▲7
10～19歳	35	3	▲10	5	▲6	165	▲5	▲10	1	6	▲1	▲1
20～29歳	▲194	▲20	▲61	▲65	▲22	▲160	▲182	▲9	▲48	▲85	▲7	▲74
30～39歳	▲93	▲2	▲17	▲39	▲16	23	▲59	▲2	▲14	▲35	▲2	18
40～49歳	▲53	1	▲13	▲1	▲6	41	▲24	▲3	▲12	▲7	▲7	6
50～59歳	▲35	▲1	▲2	0	2	15	▲9	▲3	▲3	▲4	▲4	22
60～69歳	21	1	▲1	▲1	▲4	5	3	0	▲1	1	2	▲6
70歳以上	7	1	▲1	3	▲4	▲39	▲1	0	1	▲1	▲26	▲103

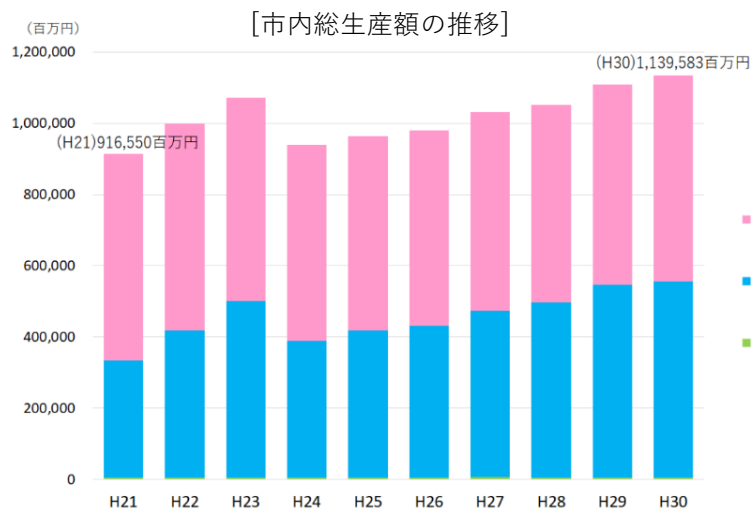
資料：呉市資料

※令和元年度広島県「人口移動アンケート調査（呉市分）」を呉市において集計

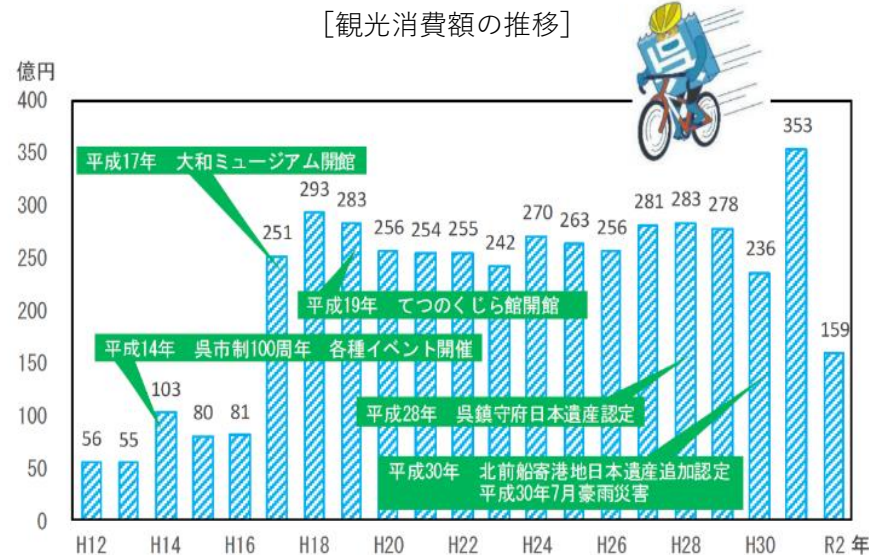
※その他には未回答を含む。

2) 産業構造

- ・市内総生産額の総額は増加傾向。就業者数は、産業3区分全てで減少傾向。日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区（以下「日本製鉄」といいます。）の全設備休止などによる経済への影響が想定される。
- ・大和ミュージアム開館後に総観光客数・観光消費額が大幅に増加。観光産業を新たな基幹産業へ成長させる（令和3年9月呉市観光振興計画策定）。



資料：広島県「平成30年広島県市町民経済計算結果」

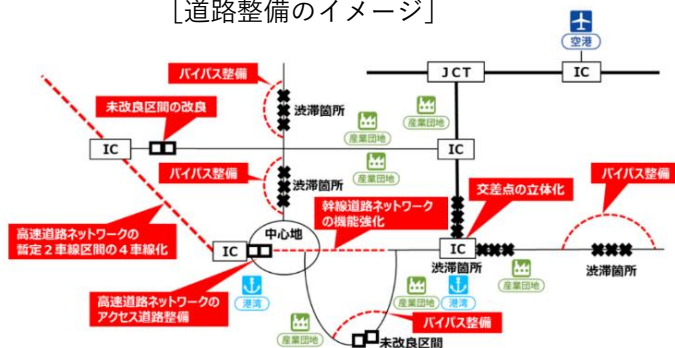


資料：広島県「広島県観光客数の動向」
 ※令和元年に観光消費額の算出方法を県内で統一した結果、353億円に増加。令和2年は新型コロナウイルス感染症の影響により159億円に激減

3) 都市基盤・都市交通

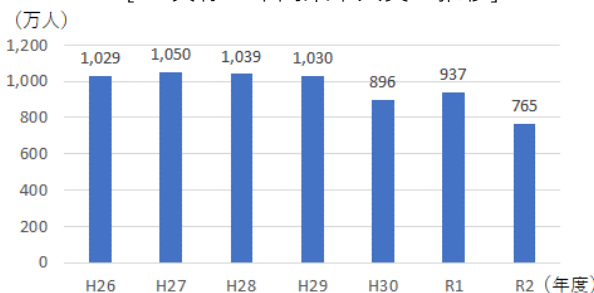
- ・都市間・地域間を結ぶ道路ネットワークの強化
- ・公共交通の利用者は減少傾向。近年では、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が更に減少

[道路整備のイメージ]



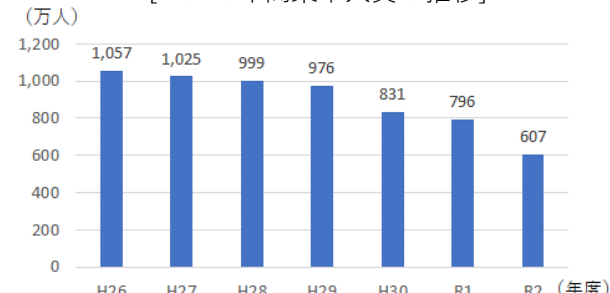
資料：呉市土木未来プラン

[JR 呉線の年間乗車人員の推移]



資料：JR 西日本広島支社資料

[バスの年間乗車人員の推移]



資料：広島電鉄株式会社資料及び呉市資料を基に作成

4) 災害

- 人口密度の高い地域と災害リスクの高い区域が重複。防災対策事業や「逆線引き^{※4}」に取り組んでいる。

[逆線引きの取組の進め方]



資料：広島県「市街化区域の土砂災害特別警戒区域を市街化調整区域に編入（逆線引き）する取組について」

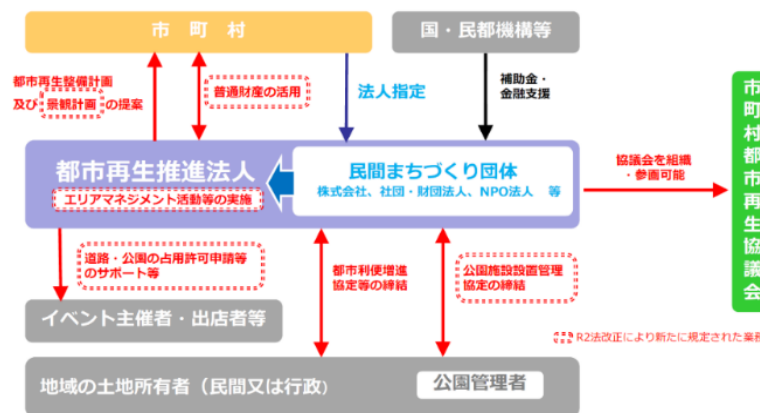
5) まちづくり活動

- 「呉市市民協働推進条例」を制定し、公園づくりワークショップなど市民協働に取り組んできた。
- 都市再生推進法人^{※5}の指定や多様なPPP^{※6}／PFI^{※7}手法の活用の検討など、官民連携によるまちづくりに取り組んでいる。

[公園づくりワークショップ]



[都市再生推進法人のイメージ]



資料：国土交通省「官民連携まちづくりの手引き」

※4 逆線引き：市街化区域（都市計画法の規定により定める区域で、優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域）を市街化調整区域（都市計画法の規定により定める区域で、市街化を抑制すべき区域）に編入すること。

※5 都市再生推進法人：都市再生特別措置法に基づき、地域のまちづくりを担う法人として、市町村が指定する法人

※6 PPP：パブリック・プライベート・パートナーシップ。Public Private Partnershipの略。公共施設等の設計、建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的な使用や行政の効率化を図りながら公共サービスの提供を行う手法

※7 PFI：プライベート・ファイナンス・イニシアティブ。Private Finance Initiativeの略。公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法

3 都市づくりに対するニーズ

1) アンケート調査の概要

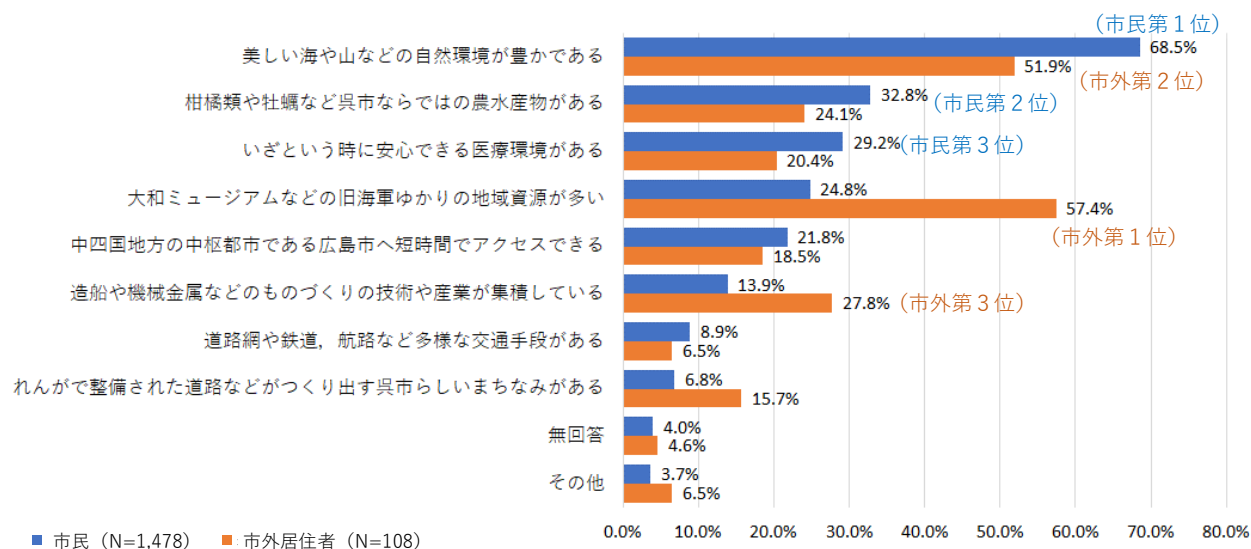
調査	対象	調査方法・期間	有効回収数
①市民アンケート調査	住民基本台帳から無作為に抽出した満16歳以上69歳未満の市民 4,000人	郵送による配布・回収 (令和3年8月4日～23日)	1,478票 (回収率：約37.0%)
②市外居住者 アンケート調査	市外居住者 (Facebookやポスター掲示による協力依頼)	GoogleFormsを活用した オンライン調査 (令和3年10月15日～11月15日)	108票

2) アンケート調査の結果

①呉市の良いところ

- ・市民，市外居住者のいずれからも豊かな自然環境の評価が高い。市外居住者からは，旧海軍ゆかりの豊富な地域資源が呉市の良いところと捉えられている。

[呉市の良いところ]



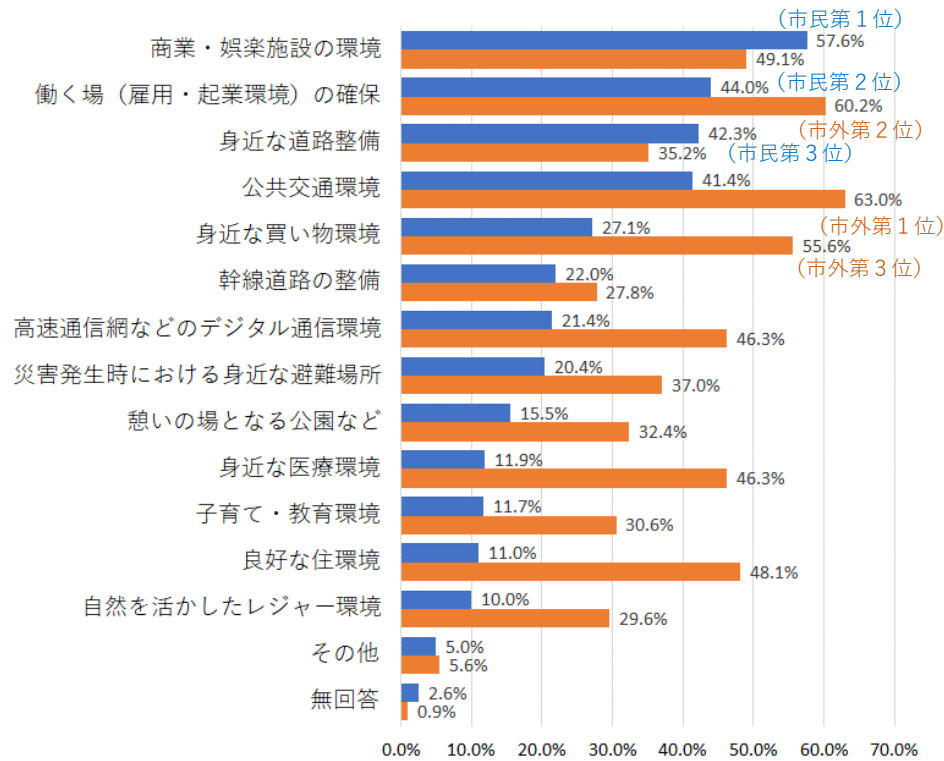
②呉市の暮らしの中で不足するもの、充実を望む環境

- ・市民からはにぎわいを創出する施設の環境の充実が、市外居住者からは公共交通環境の充実が最も望まれている。また、両者からは、雇用・起業環境の充実が望まれている。

③20年後の呉市の姿

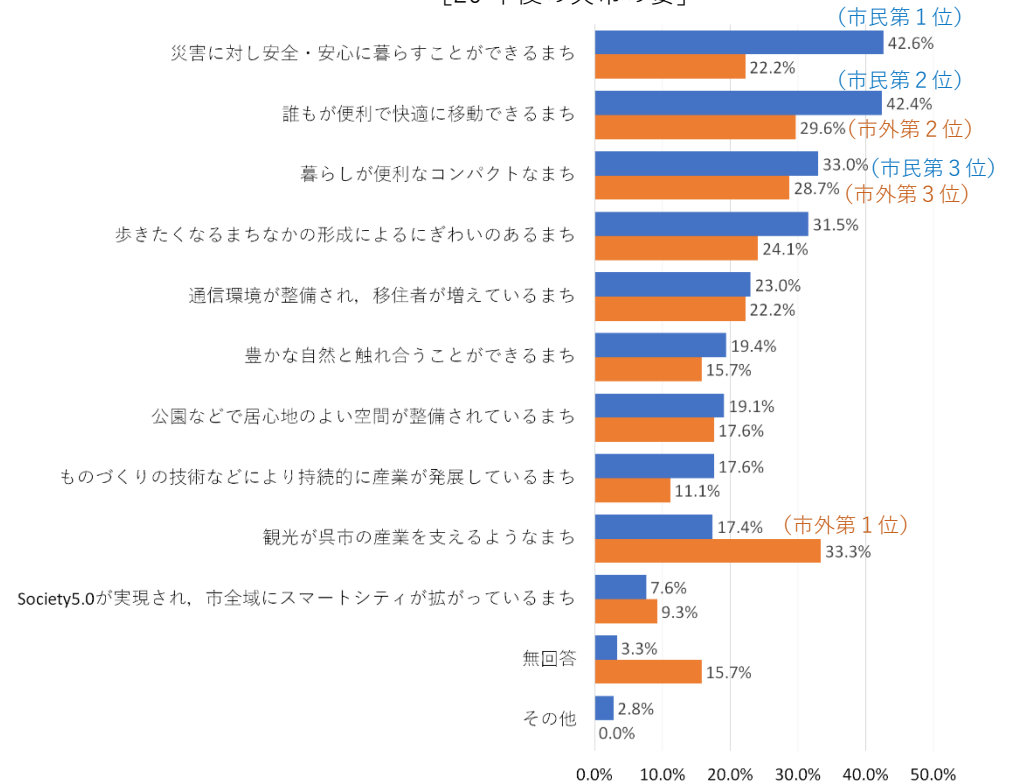
- ・市民からは防災まちづくりに、市外居住者からは観光まちづくりに期待が寄せられている。加えて「コンパクト+ネットワーク」の都市構造の構築に関連するまちづくりが望まれている。

[呉市の暮らしの中で不足しているもの、充実を望む環境]



■ 市民 (N=1,478) ■ 市外居住者 (N=108)

[20年後の呉市の姿]



■ 市民 (N=1,478) ■ 市外居住者 (N=108)

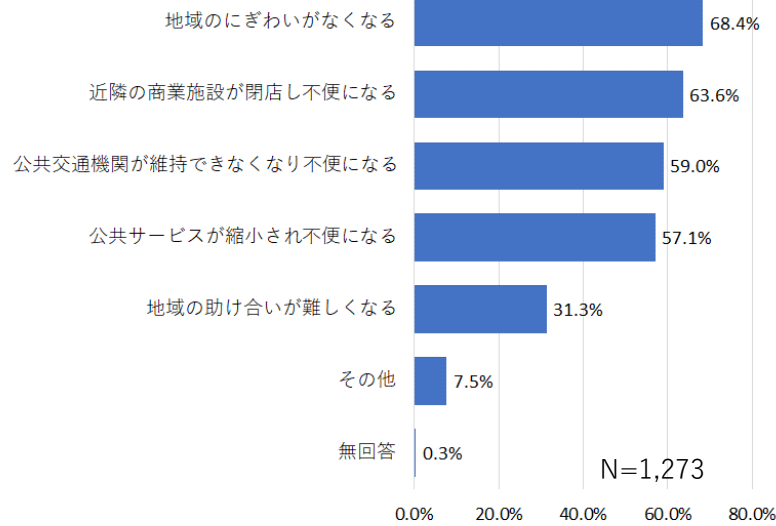
④人口減少に対する考え

- ・ 買い物環境や公共交通の利用環境などの都市的サービスの維持に不安を感じており、人口減少の抑制対策として定住対策や生活サービス施設の維持・誘導に向けた取組が求められている。

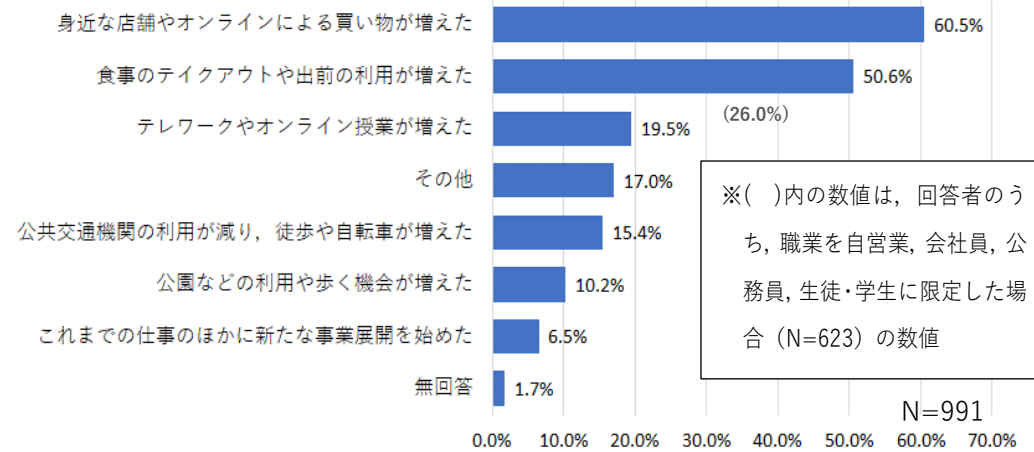
⑤新型コロナウイルス危機に伴う生活の変化

- ・ テレワークなどに対応した通信環境の整備や住宅地の近くへの店舗の誘導などが求められている。

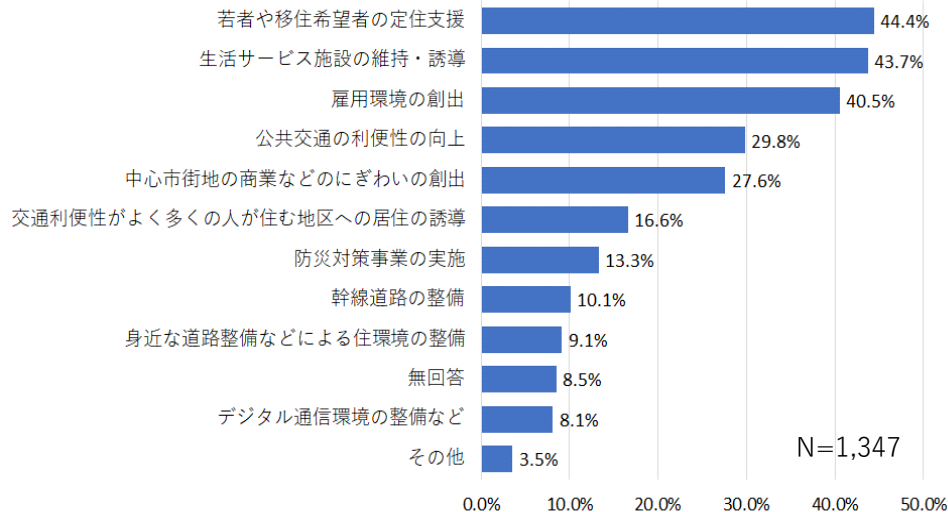
[人口減少を不安に感じる理由]



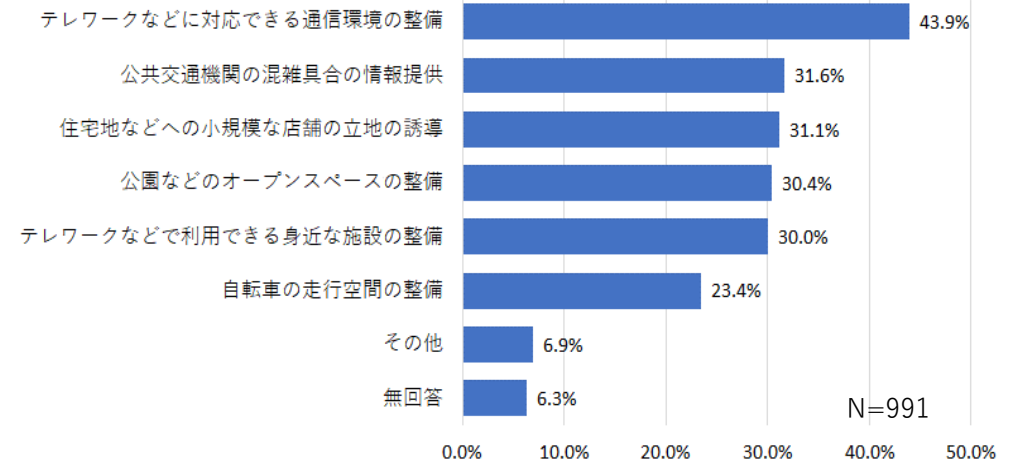
[新型コロナウイルス危機に伴う生活の変化]



[人口減少を抑制するための取組]



[新型コロナウイルス危機を経験した上で重要と考える都市整備]



4 現行計画の振返り

1) 土地利用

(1) 取組の方向性

- ・コンパクトで持続可能、安全・安心な暮らしを実現する土地利用の推進
- ・都市のにぎわいと活力を生む土地利用の推進

(2) これまでの主な取組

- ・呉市立地適正化計画（令和 2 年 9 月）を策定
- ・旧そごう呉店跡地を含めた、呉駅周辺地域総合開発の推進
- ・阿賀マリノポリス地区や苗代工業団地への企業立地の推進

2) 交通体系

(1) 取組の方向性

- ・拠点間を効率的・効果的に連絡し、暮らしの利便性を向上させる交通体系の構築
- ・経済活動を支援する交通体系の構築

(2) これまでの主な取組

<道路>

- ・幹線道路や生活道路の整備（休山新道（4 車線）供用開始（平成 31 年 3 月）など）
- ・橋りょうなどの更新や補修
- ・道路に係るマネジメントの基本方針（呉市土木未来プラン（令和 3 年 4 月））を策定

<公共交通>

- ・呉市地域公共交通網形成計画（令和 2 年 9 月）を策定
- ・交通まちづくりの起点となる呉駅周辺地域総合開発の推進

3) 都市施設

(1) 取組の方向性

- ・豊かな暮らしを支える施設整備や長寿命化の推進
- ・民間活力による施設管理や空間活用の推進

(2) これまでの主な取組

- ・公園施設や上・下水道施設などの施設の更新
- ・社会実験（クレテリア）の実施など、公共空間の活用策の検討

4) 防災

(1) 取組の方向性

- ・人命保護を最優先とした総合的な防災まちづくりの推進
- ・地域防災力の向上に向けた民間との連携

(2) これまでの主な取組

- ・平成 30 年 7 月豪雨災害からの復興
- ・国土強靱化地域計画（令和 3 年 3 月）の策定と砂防施設などの整備促進や建築物の耐震改修の促進

5) 都市環境

(1) 取組の方向性

- ・環境負荷の低減と郷土愛を醸成する都市環境づくりの推進
- ・交流を生む景観づくりの推進

(2) これまでの主な取組

- ・家庭用燃料電池の導入支援など省エネルギー対策を実施
- ・呉市景観条例や呉市屋外広告物条例による景観形成に向けた誘導

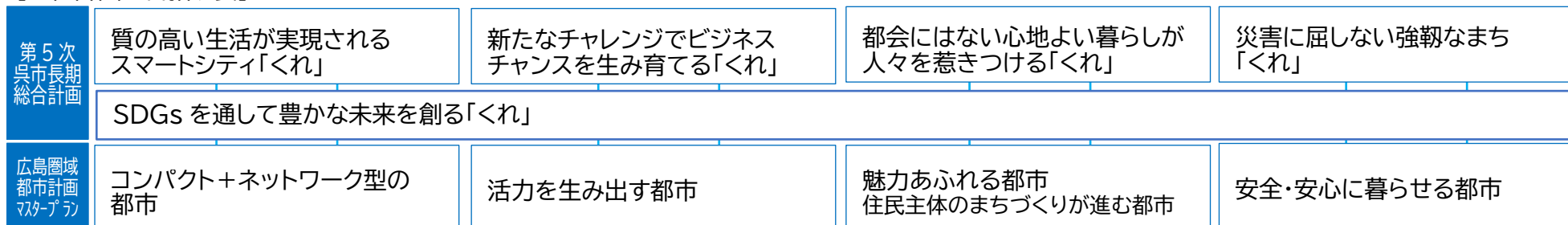
第3章 全体構想

1 都市づくりの主要課題

素案 P 29～ P 33

上位計画の第5次呉市長期総合計画や広島圏域都市計画マスタープランで目指す将来像の実現に向け、現況や動向を踏まえて課題の整理をします。

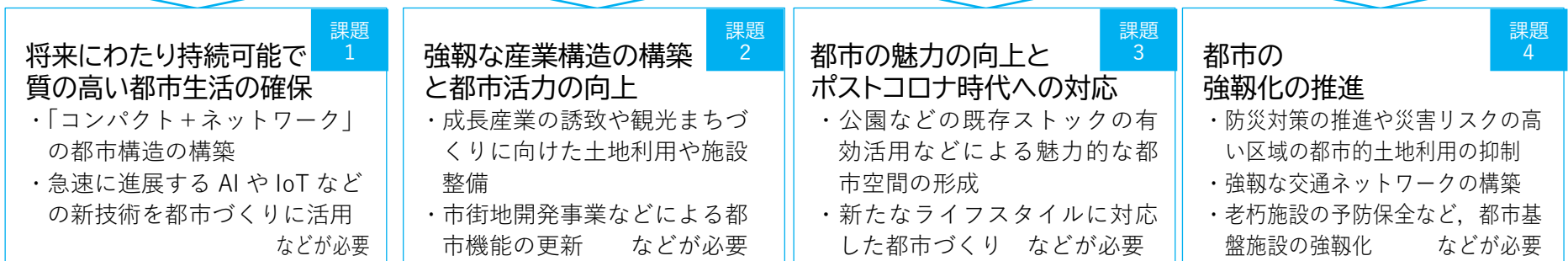
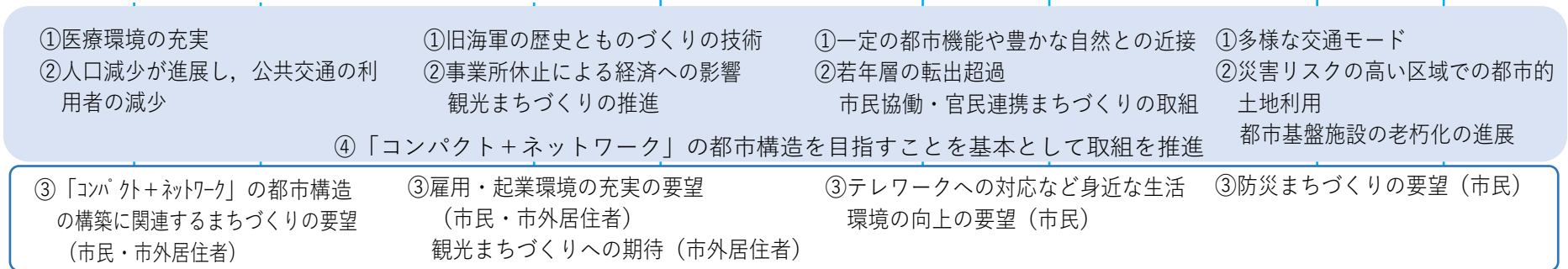
【上位計画で目指す姿】



【改定の基本的な考え方】



【現況・動向】(①魅力と強み②取り巻く状況③ニーズ④振返り)



2 都市づくりの基本理念，都市の将来像及び都市計画の目標

第5次呉市長期総合計画や広島圏域都市計画マスタープランの目指す将来像の実現に向け，次のとおり都市づくりの基本理念を定めます。

あわせて，都市づくりの主要課題を解決し，第5次呉市長期総合計画で掲げる五つの未来の姿を実現することを念頭に，都市の将来像を定め，その実現のための都市計画の目標を掲げます。

<都市づくりの基本理念>

つながり，にぎわい，誰もが住み続けたい都市「くれ」
～人が中心，安全で持続可能な都市を目指して～

歴史や文化などの呉らしさと Society5.0^{※8}の実現に向けた新技術が融合した魅力的で質の高い都市の中で，一人ひとりの希望が実現され，また，多様な出会いと交流を通じた新たな価値の創造が図られるなど，人が常に中心となることを念頭に置いた都市づくりに取り組みます。また，誰もが安全で安心して暮らすことができ，人口減少への対応や脱炭素社会^{※9}の実現，また，SDGsの達成に向けた持続可能な都市を目指すために，コンパクトな都市の形成に向けて取り組むことを基本として，人や地域・情報などが様々な形で市内外に渡ってつながり，にぎわい，誰もが住み続けたいと思う都市・くれを目指します。

※8 Society5.0：ソサイエティ5.0。「第5期科学技術基本計画」（平成28年1月22日閣議決定）において我が国が目指すべき未来社会の姿として提唱された，サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより，経済発展と社会的課題の解決を両立する，人間中心の社会（Society）を指す。

※9 脱炭素社会：地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量「実質ゼロ」を目指す社会のこと。

解決すべき課題 将来にわたり持続可能で質の高い都市生活の確保(都市づくりの主要課題1)

都市の将来像1

持続可能で、質の高い生活を実現する
コンパクトでスマートな都市「くれ」



都市計画の目標1

コンパクト+ネットワークの取組による持続可能な都市構造の構築

- ・居住の誘導と多様な都市機能の集積により拠点の形成を図り、持続可能な都市構造の構築に取り組む。
- ・都市間・地域間を結ぶ道路整備や公共交通のネットワークを形成
- ・脱炭素社会の実現に向け、地球環境に配慮した都市づくりの推進

都市計画の目標2

新技術の活用によるスマートシティの実現

- ・官民が連携しながら AI や IoT などの新技術の活用を図り、スマートシティの実現を目指す。
- ・自動運転車両の導入や MaaS^{※10} などの新技術の実装に向けて取り組むなど、スマートモビリティ^{※11} を推進

解決すべき課題 強靱な産業構造の構築と都市活力の向上(都市づくりの主要課題2)

都市の将来像2

多様な産業が生まれ育ち
活力あふれる都市「くれ」



都市計画の目標3

強靱な産業構造の構築や都市活力の向上のための都市機能強化

- ・産業活動を支援する土地利用の誘導や都市基盤整備など多様性のある強靱な産業構造の構築に向けた都市づくりを推進
- ・市街地開発事業やリノベーションまちづくり^{※12} などによって都市機能の更新を図り、都市活力の向上に向けた取組を推進

※10 MaaS：マース。Mobility as a Serviceの略。出発地から目的地まで、利用者にとっての最適経路を提示するとともに、複数の交通手段やその他のサービスを含め、予約や決済などを一括して提供するサービス

※11 スマートモビリティ：AIなどの新技術を活用することにより生まれる新たな交通サービスの総称

※12 リノベーションまちづくり：空き家、空き店舗や空きビルなど遊休不動産に付加価値をつけ新しく再生・活用し、地域課題を解決していくまちづくり

解決すべき課題 都市の魅力の向上とポストコロナ時代への対応(都市づくりの主要課題3)

都市の将来像3

心地よい暮らしが人々を惹きつける
魅力ある都市「くれ」



都市計画の目標4

居心地の良いウォーカブルなまちなかの形成

- ・ミクストユース^{※13}などの誘導による多様性のある魅力的なまちなかの形成
- ・公共空間の活用などを官民連携で一体的に推進し、ウォーカブルなまちづくりを推進

都市計画の目標5

利便性と自然の豊かさを備えた都市の実現

- ・職住近接を可能とする柔軟な土地利用・施設整備などを推進し、身近な地域生活圏の形成を図る。
- ・グリーンインフラ^{※14}の推進や豊かな自然環境の保全
- ・景観の保全、ワーケーション^{※15}の環境整備などの取組を推進

解決すべき課題 都市の強靱化の推進(都市づくりの主要課題4)

都市の将来像4

安全に住み続けられる強靱な都市「くれ」



都市計画の目標6

人命と財産を守る強靱な都市づくり

- ・防災対策事業の実施や老朽化したインフラ施設などの効率的・効果的な維持管理に取り組み、強靱な都市づくりを推進
- ・ハードとソフトが一体となった事前防災対策^{※16}の取組を総合的に推進

※13 ミクストユース：住、職、商、遊、学などの複数の用途や機能が混在した土地利用

※14 グリーンインフラ：社会資本整備や土地利用などのハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組

※15 ワケーション：仕事（Work）と休暇（Vacation）を組み合わせた造語。テレワーク等を活用し普段の職場や居住地から離れ、リゾート地などの地域で普段の仕事を継続しながら、その地域ならではの活動も行うもの。

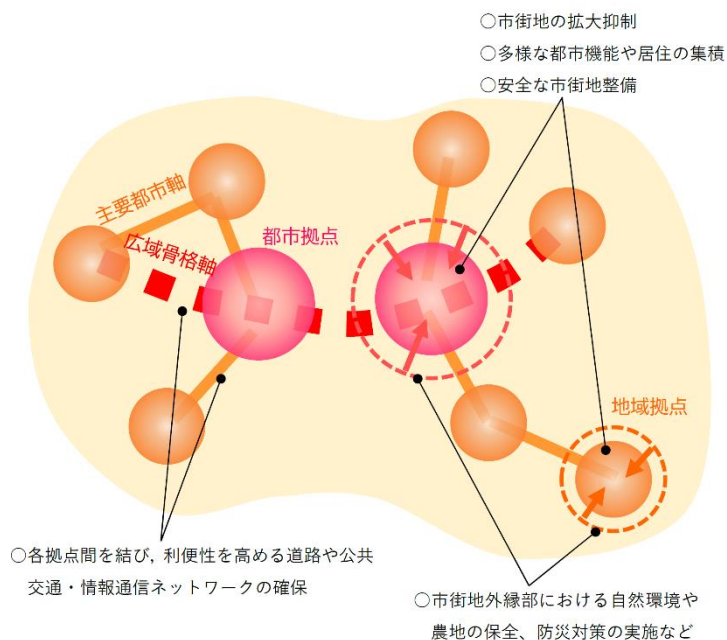
※16 事前防災対策：災害の発生を想定した上で、それによる人的・経済的被害を軽減するために未然に対策を講じること。

3 将来都市構造

素案 P 45～ P 48

都市の将来像の実現を目指し、市全域を見渡した将来都市構造を定めます。多様な都市機能が集積した拠点と各拠点間が道路・公共交通・情報通信で連携されたコンパクト+ネットワークによる都市構造の構築を基本とします。

[コンパクト+ネットワークを基本とする都市構造の概念図]



都市拠点や地域拠点は、各地域のまちづくりの拠点となる市役所や市民センターを基本とします。

[拠点の設定]

拠点	位置	役割
都市拠点	中央地区 (都心), 広地区 (副都心)	<ul style="list-style-type: none"> 市全域や広域的な圏域において中核を担う拠点 中枢的な都市機能が集積し、公共交通などの利便性に優れる拠点 人の出合いや交流、滞留を促進し、にぎわいを生み出す拠点
地域拠点	中央、広地区 以外の地区	<ul style="list-style-type: none"> 生活圏における人口などに応じて、一定の日常生活が満たされる都市機能を集積する拠点
生活拠点	-	<ul style="list-style-type: none"> 地域拠点を補完し、日常生活に必要な機能の一部や地域コミュニティを醸成する機能を有した拠点
生産流通拠点	既存の産業集積地 や産業団地など	<ul style="list-style-type: none"> 工業技術や物流機能、成長分野の産業の集積を図り、呉市及び広域都市圏の産業発展をけん引する拠点

[軸の設定]

軸	位置	役割
広域骨格軸	自動車専用道路及び一般国道(第1次緊急輸送道路 ^{※17}), 鉄道	<ul style="list-style-type: none"> 都市の骨格を形成し、隣接市町などとの広域的な連携を図るとともに、都市活動を支える軸
主要都市軸	一般国道, 主要地方道, 一般県道 (主に第1次緊急輸送道路, 第2次緊急輸送道路)	<ul style="list-style-type: none"> 各拠点間との連携を図り、都市全体の一体性を形成し、日常生活の利便性を高めるとともに、都市活動を支える軸
瀬戸内連携軸	島しょ部を中心とした瀬戸内海に面する地域	<ul style="list-style-type: none"> 瀬戸内固有の魅力を活かし、観光や農水産業などの活性化による交流を図る軸

※17 緊急輸送道路：地震直後から発生する緊急輸送を迅速かつ確実に実施するために必要な道路

[将来都市構造図]



4 分野別の都市づくりの方針

1) 土地利用の方針

(1) 都市計画区域内の土地利用

様々な制度を適正に運用し、多様な都市活動に柔軟に対応でき、安全でコンパクトな市街地の形成に向けた土地利用を促進

- ・ 呉市立地適正化計画に基づく居住と都市機能の誘導
- ・ グランドレベルへの都市機能の誘導やミクストユースの促進
- ・ 呉駅周辺地域における連鎖的な民間開発の誘導
- ・ 大規模な事業所跡地における活力づくりと雇用創出に資する土地利用の検討 など

(2) 都市計画区域外の土地利用

豊かな自然環境と調和した土地利用を促進

2) 交通体系の整備の方針

(1) 道路の整備と維持管理

災害に強く、多様な都市活動に対応した効果的な道路整備と効果的な維持管理を推進

- ・ 広島呉道路や（都）焼山押込線などの整備促進
- ・ 地域内道路の整備の推進
- ・ にぎわいの創出に向けた道路空間の有効活用
- ・ 道路施設の予防保全や交通安全上必要となる道路施設の整備 など

(2) 公共交通網の形成

まちづくりと連携した持続可能な公共交通ネットワークの形成と安心・快適に利用できる公共交通環境の充実

- ・ 呉駅交通ターミナルの整備や次世代モビリティの導入に向けた取組の推進
- ・ 地域の実情に応じた交通モードの選定とグリーンスローモビリティ^{※18}などの導入検討
- ・ 施設のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の推進 など

3) 都市施設の整備・維持管理の方針

持続可能な都市経営に向け、民間活力の導入や効果的かつ効果的な施設整備と維持管理を推進

- ・ 公園整備における民間活力の導入など官民連携による公園づくりの推進
- ・ 公園や下水道などの整備と都市施設の効率的・効果的な維持管理
- ・ 流域治水^{※19}や河川改良の推進
- ・ 港湾・漁港の計画的な整備 など

4) 都市の防災・減災、強靱化の方針

官民が連携し、ハードとソフトが一体となった防災・減災に資する都市づくりを総合的に推進

- ・ 市街化区域内の土砂災害特別警戒区域の市街化調整区域への編入の推進
- ・ 立地適正化計画に防災指針を定め、居住誘導区域内の安全確保の取組を推進
- ・ 防災拠点の機能強化や緊急輸送道路の整備の推進
- ・ 土砂災害や水害などに対する防災対策事業の推進
- ・ 避難体制の整備や防災教育などの取組の推進 など

5) 都市環境の保全・形成の方針

次世代に向けた呉らしさのある、豊かで持続可能な都市環境づくりを推進

- ・ CO₂の吸収源となる緑化の推進や多自然型川づくりによる生態系の保全
- ・ 道路・公園照明などのLED化や再生可能エネルギーの公共施設への導入
- ・ 呉市景観計画に基づく呉らしい景観の保全と形成 など

※18 時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した移動サービス、車両。導入により地域が抱える様々な交通の課題の解決や低炭素型交通の確立が期待される。

※19 流域治水：河川流域のあらゆる関係者が協働し、流域全体で様々な取組を行う対策

◆今後のスケジュール

令和4年6月下旬

呉市議会産業建設委員会へ呉市都市計画マスタープラン全体構想（素案）及び素案に対する意見募集（パブリックコメント）の報告

令和4年7月上旬から8月上旬

呉市都市計画マスタープラン全体構想（素案）に対する意見募集（パブリックコメント）の実施

令和4年8月下旬

呉市都市計画マスタープラン検討委員会（第3回）へ意見募集結果，呉市都市計画マスタープラン全体構想（案）及び地域別構想（素案）の報告

令和4年9月中旬

呉市議会産業建設委員会へ意見募集結果，呉市都市計画マスタープラン全体構想（案）及び地域別構想（素案）の報告

令和4年9月中旬以降

呉市都市計画マスタープラン地域別構想（素案）に関する地域説明会の開催